

科目名	公共政策科学	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）	
			経済 学科	□必修 ■選択
			法律 学科	□必修 ■選択
英文表記	Science and Public Policy	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
ふりがな	くすやま ひろあき	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	楠山 大暁	修得単位	2単位	
授業のテーマ	公共政策とは何か、また、資源の配分や所得の再分配を理解する。			
授業概要	あなたには解決したい悩み(問題)があるでしょうか？ もしかしたらそれは、あなたの個人的な問題ではなく、社会全体で解決すべき問題なのかもしれません。では、個人的な問題と社会的な問題はどのように区別されるのでしょうか？ 本講義ではそもそも公共政策と何かを議論した後、具体的に家族介護の問題を取りあげ分析します。必要な介護労働のうち、どこまでを家族で担い、どこからを社会に任せるべきでしょうか？ そんな問いへの答えを考えてみることにします。			
到達目標	解決すべき社会問題を発見し、経済学的根拠に基づいた自分なりの解決方法を考えられるようにする。			
授業時間外の学習	期末試験のほか、政策レポートの提出を必須とします。			
履修条件	財政学入門を履修していることが望ましい。			
授業計画				
第1回	ガイダンス			
第2回	公共政策とは何か			
第3回	介護保険制度① 相互扶助の系譜			
第4回	介護保険制度② なぜ、介護の社会化が必要となったか			
第5回	介護保険制度③ 居宅サービス			
第6回	介護保険制度④ 施設サービス			
第7回	家族介護の限界① 現代家族の変容			
第8回	家族介護の限界② 介護離職、レスパイトケア			
第9回	家族介護の限界③ 育児・介護休業制度			
第10回	政策レポートの書き方			
第11回	地域包括ケアシステム			
第12回	付加価値の計測 生産活動とは何か			
第13回	無償労働の貨幣評価			
第14回	復習①			
第15回	復習②			

第 16 回	定期試験
テキスト	レジュメを配布します。
参考文献・資料	落合恵美子(2013)『21 世紀家族へ 家族の戦後体制の見かた・超えかた』ゆうひかく選書 結城康博(2015)『在宅介護 「自分で選ぶ」視点から』岩波新書
成績評価の方法	【平常点(10%)、政策レポート(50%)、定期試験(40%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合は試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・レポート課題は授業内で提示します。
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
オフィスアワー	毎週月・木曜日 14:40～16:10 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
学生へのメッセージ	もし、皆さんが政策担当者なら、どんな社会問題を解決したいでしょうか？ また、その社会問題を解決するためにはどうすればよいでしょうか？